

質問事項		記述式回答
来年秋を見据えて、現在の景気の基調		
1	9月16日の経済財政諮問会議において、2015年秋を見据えて、現在の景気の基調を見る際、以下の5項目について今後注視すべきとされました。これらを参考に、現在の景気の基調や考慮すべきリスクをどうご覧になっているか、また、とるべき対応があれば、合わせて300字以内でご記入ください。 ① 消費の安定的増加、それを支える雇用者数・賃金の伸び(正規比率の上昇を含め)や消費マインド ② 企業収益の動向、民間設備投資の強さ(設備投資計画の動向も含む) ③ 輸出入の動向、交易条件の動向 ④ 物価動向(一時的要因を除いた実勢と期待物価) ⑤ マーケット(株価、為替、金利等)の動向	現在政府が進める日本の成長戦略が計画通りに実行されないことがリスク。日本再興のために解決すべき課題がいくつあるが、以下テーマには特に注目している。①世界一のインフラを活かしたIT利活用による医療・介護の分野等における生産性の向上と、その前提としてのマイナンバー制度の民間活用を含めた形での早期の導入。②米など質の高い日本産の食材輸出を中心とした農漁業の産業化と、その前提としてのTPP合意。③2020年東京オリンピック・パラリンピックを起爆剤とした、質の高い食文化を中心とした日本ならではの観光資源の効果的なPRによる訪日外国人増加施策。
地方創生・地域活性化		
2	地方創生・地域活性化に向けて、重点的に取り組むべき課題及び対応策につき、ご自身(自社)の知見・経験も踏まえてお考えを300字以内でご記入下さい。その際、地方が抱える課題の背景についても、併せてご記入下さい。	日本人の心の拠り所である「ふるさと」としての視点が欠かせない考える。江戸時代の300の藩をベースに、地域毎に伝統的なお祭りや食材等の個性が残っている。それらの資産を再評価し、地元の人がやる気をもって活用すれば、国も横並びで応援しやすい。当社でも、以下の取組みを行っている。①地元愛を持つ人が、その土地の魅力を情報として発信する「ぐるたび」活動。②ふるさとをキーにして、目利きであるシェフとそれぞれの地方の生産者を結び付け、シェフにその土地の産品を使ったメニューを開発してもらい、レストランで「産地フェア」などの形で一般消費者に食べてもらうことによって隠れた名産品の紹介を行う「地産他消」活動。
その他		
3	10月下旬の為替相場は107円台付近で推移しています。最近の為替相場の動向やその景気への影響について、ご見解があれば300字以内でご記入ください。	特にございません。